

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 5月 12日

事業所名 オールケア豊中 木もれび

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用児に合わせてスペース確保している。	整理整頓を心がけスペース作りを行います。
	2 職員の配置数は適切である	○		常に人材確保に動いています。	重心の方々のケアを行うので配置基準以上の人手が必要となります。人材育成に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			設備が活かされるように整理整頓を実施していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		一人一人が常に振り返りの意識向上のために話し合いをしています。	常にモチベーションも上がるように目標設定をし業務改善の意識を高めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			いただいたご意見を参考にし細やかな支援を目指します。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			開所1年目ですので今回ホームページで公開いたします。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	内部監査を行っています。	今後も評価して頂く機会を作り業務改善に努めます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部内部研修を実施しております。	必要な研修を取り入れ資質向上に努めます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングの機会を活かし計画に反映できるようにしています。	日々の小さな気付きをすぐに共有し計画、支援していけるようにいたします。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	スコア表の活用やご家族からの聞き取りを重視しております。	今後はツールの活用も検討いたします。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議で活動案をあげています。	考えた活動を実際に形にしていけることをスピード感を持って動いていこうとします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や年齢に合わせて工夫しています。	新しい活動を取り入れるように調べたり研修などにも参加していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		滞在時間や体調も考えながら設定しています。	個々の特性も考えながらできることを増やしていくように心がけます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		楽しく活動できることを考えながら、個人集団共に取り入れています。	より充実した活動となるように計画をしっかりと立てるようにいたします。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日の終礼議事録を活用しながら共有しています。	シフト勤務のため一斉にできないこともありますが、出勤時の確認を怠らないようにし共有続けます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		短時間でも集中して振り返り、気付きの共有、申し送りを行っています。	シフト勤務のため一斉にできないこともありますが、終礼議事録の活用と共有続けます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		声に出して抜けていることのないようにしています。	どの支援も職員全員が理解して行い、月間記録に残していきます。

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		送迎時や日々のやり取りから、見直しの判断をしています。	必要に応じてご家族との相談をします。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		同じものだけにしないように気を付けています。	ベースになる基本活動と新しい活動も考えながら合わせていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管(ケース担当)が出席し、全員で共有するようにしています。	誰でもが参加できるように人材育成に努めます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に先生との情報交換に心がけています。	必要に応じて電話などでも共有すべきことは確認するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医指示書をいただき確認させていただいております。	ご連絡はご家族にお願いすることが多いですが、必要に応じて直接お話をさせていただく機会を持っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		関係機関との連携は大切にしています。	定期的にも行えるようにして参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			重心特例多機能型で卒業後も利用可能なため、現状情報提供はありません。必要に応じて行ってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		開所1年目でコロナ禍もあり、そういう場が少なかったです。今後は連携させていただくようにいたします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍で自粛もありました。今後は交流の機会を考えてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ禍で自粛もありました。今後は参加できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		ご利用時に気になったことなどは早めに確認するようにしています。	これからはご家族との共通理解をより深めていけるように丁寧な対応を心がけます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者よりの相談に対応できるように職員の資質向上のために研修参加等してまいります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		重要事項説明書を用いて説明をさせていただいております。	契約時にご説明しておりますが、理解をいただけているかの確認を行ってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		まずしっかりとお話を聞かせていただき、できることのご提案をさせていただいています。	職員一人一人が助言や支援できるように、個々のスキルアップを目指しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍で行事なども開催できませんでしたので、保護者の交流ができるように方法を考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情のお声があったらすぐにお話をお聞きし、職員全員で改善策の共有をします。	苦情があった原因を探り、改善策を話し合い、保護者の方にご説明いたします。より良い支援をするために話し合うようにします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			機関紙の作成等の発信回数が少なかったため、伝え方も含めて日々の取り組みを見ていただけるようにいたします。
	35	個人情報に十分注意している	○		情報の取り扱いに注意するように職員にも定期的に周知しています。	大切な個人情報をお預かりしている意識を常に持てるようにいたします。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		細かくご説明したり伝えるタイミングなど配慮しています。	ライン、電話、直接お会いしてなどの工夫をしながら確実に伝わる方法をとるようにします。

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍でできていませんでしたので計画を立てていきます。
----	------------------------------------	--	---	--	------------------------------

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		研修などを受けて危険予測も行い、対策を話し合っています。	保護者への説明が細やかではなかったこともあるので、わかりやすく伝えるように改善いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防犯、防災の訓練をいろいろなパターンで毎月行っています。	毎月行っていることが発信できていませんでしたので、それを確実にいきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年社内会議で検証をしたり、研修にも参加しています。	外部内部研修を行い、その都度意識を高めていくようにしております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		毎年社内会議で検証をしています。その上で計画に記載するようにしております。	職員に意識してもらうために、どのような行為が身体拘束になるのか検証をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師から指示をうけた保護者の説明をしっかりと聞きしています。	指示書への記載確認も確実に行うようにいたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎日の終わりに今日あった事を共有しています。	どういう傾向のものが多いのかなどの検証も行うようにしています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2023年5月12日

事業所名 オールケア豊中 木もれび

保護者等数(児童数) 12

回収数 10

割合 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	10%			床での遊ぶスペースが少ない	利用児に合わせてスペース確保に努めます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	10%			理学療法士が関わっているか不明	直接的な関りは少ないですが職員がアドバイスを求めて反映させています
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	90%	10%			保護者が安心して預けることができるように目標を持ってほしい	ご家族のお気持ちに添った支援をしております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	90%	10%				新しい情報も日々取り入れ工夫してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	60%	20%			コロナ減少を踏まえ地域交流も行っております。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90%		10%		創作活動費の使途が不明	活動内容のお知らせを充実できるようにいたします。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	90%		10%			日々の状況をお聞きしたりお伝えして共通理解を深めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%	10%				支援者側からの提案や発信ができるようにスキルアップに努めます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	50%	30%	20%			行事参加などで保護者交流ができる場面づくりを検討いたします。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	10%	10%		オムツを毎回持参ではなく預かってほしい	環境整備し管理できる状況が整うように検討いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	10%		10%		できる限り細やかに素早く対応できるようにいたします。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	90%		10%			SNSを使っての情報発信を行い活動の共有や業務内容の共有にも努めます。
14 個人情報に十分注意しているか	80%	10%		10%	評価表を封筒に入れる等の配慮をしてほしい	個人情報重視し配慮いたします。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	60%	40%				現在行っていることの情報発信をしております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	70%	30%				現在行っていることの情報発信をしております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	80%	20%				それぞれのお気持ちに添った関わりを続けてまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	90%	10%				事業所としてできることをしっかり考えてまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。